

Ⅱ 調査結果の概要

1 観光客の概況

(1) 総観光客数

① 平成26年の総観光客数

単位：万人，%

区分	平成26年	平成25年	対前年増減	対前年増減率
総観光客数	6,181	6,109	72	1.2

平成26年の総観光客数は6,181万人で、平成25年と比べて72万人（1.2%）増加し、3年連続で過去最高を更新した。

夏場の天候不良の影響が見られたものの、瀬戸内しまのわ2014の開催（3月21日～10月26日）もあり、全体としては増加となった。

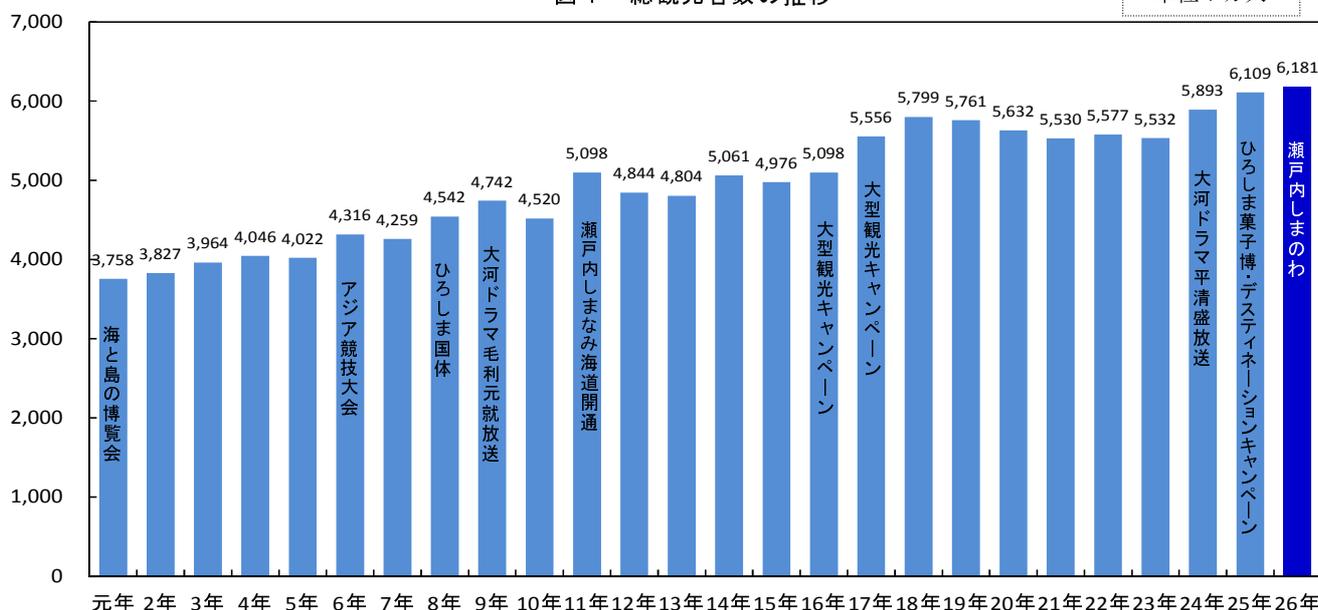
② 総観光客数の推移

本県の総観光客数は、平成元年以降ほぼ順調に推移し、「瀬戸内しまなみ海道」が開通した平成11年に初めて5,000万人を上回った。平成16年から平成18年は大型観光キャンペーンの効果もあり、3年連続して過去最高を更新したものの、その後は伸び悩み、平成21年以降は5,500万人台で推移していた。

平成24年は、大河ドラマ「平清盛」放送の効果もあり、6年ぶりに過去最高を更新し、平成25年は、広島県デスティネーションキャンペーンの実施などにより、初めて6,000万人を突破した。平成26年は平成25年をさらに上回り、3年連続して過去最高を更新した。

図1 総観光客数の推移

単位：万人



単位：万人，%

区分	元年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年
総観光客数	3,758	3,827	3,964	4,046	4,022	4,316	4,259	4,542	4,742	4,520	5,098	4,844	4,804	5,061	4,976	5,098	5,556	5,799	5,761	5,632	5,530	5,577	5,532	5,893	6,109	6,181
対前年増減率	13.2	1.8	3.6	2.1	▲0.6	7.3	▲1.3	6.7	4.4	▲4.7	12.8	▲5.0	▲0.8	5.4	▲1.7	2.5	9.0	4.4	▲0.7	▲2.2	▲1.8	0.8	▲0.8	6.5	3.7	1.2
元年基準の指数	100	101.8	105.5	107.7	107	114.8	113.3	120.9	126.2	120.3	135.6	128.9	127.8	134.7	132.4	135.7	147.8	154.3	153.3	149.9	147.2	148.4	147.2	156.8	162.6	164.5

② 市町別総観光客数の順位（上位10位）

単位：千人，%

順位	市町名	平成26年	平成25年	対前年増減	対前年増減率	前年順位
1位	広島市	13,624	13,321	303	2.3	1位
2位	廿日市市	7,332	7,427	▲95	▲1.3	2位
3位	福山市	6,758	6,527	231	3.5	3位
4位	尾道市	6,412	6,330	82	1.3	4位
5位	呉市	4,223	4,393	▲170	▲3.9	5位
6位	三原市	3,222	3,381	▲159	▲4.7	6位
7位	東広島市	2,772	2,624	148	5.6	9位
8位	三次市	2,756	2,949	▲193	▲6.5	7位
9位	庄原市	2,711	2,712	▲1	▲0.0	8位
10位	北広島町	2,668	2,542	126	5.0	10位

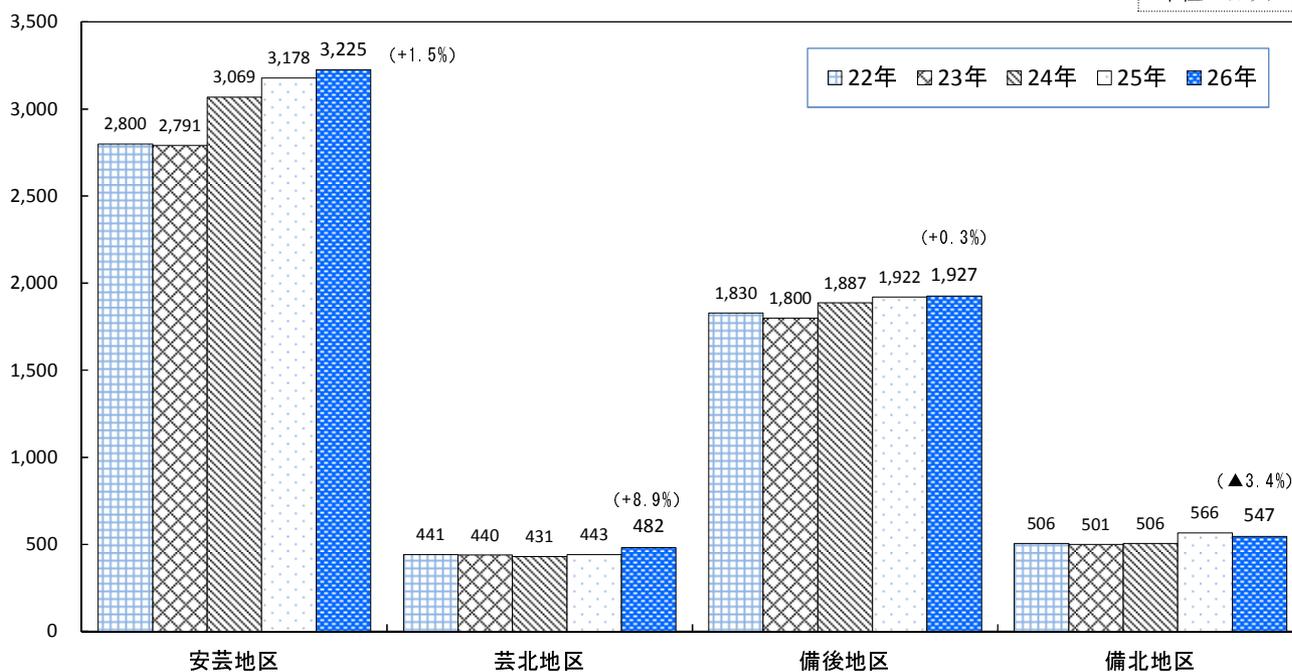
上位10市町の中では、東広島市及び北広島町が平成25年と比べて5%を超える増加となったが、廿日市市ほか4市では減少となっている。

③ 地区別総観光客数の状況

地区別では、前年と比べて、芸北地区が3.9万人（8.9%）と大幅に増加した。また、安芸地区が4.7万人（1.5%），備後地区が5万人（0.3%）増加した。一方で、備北地区が1.9万人（▲3.4%）の減となっている。

図3 地区別総観光客数の状況

単位：万人



(3) 発地別観光客の状況

① 県内・県外観光客の状況

単位：万人，%

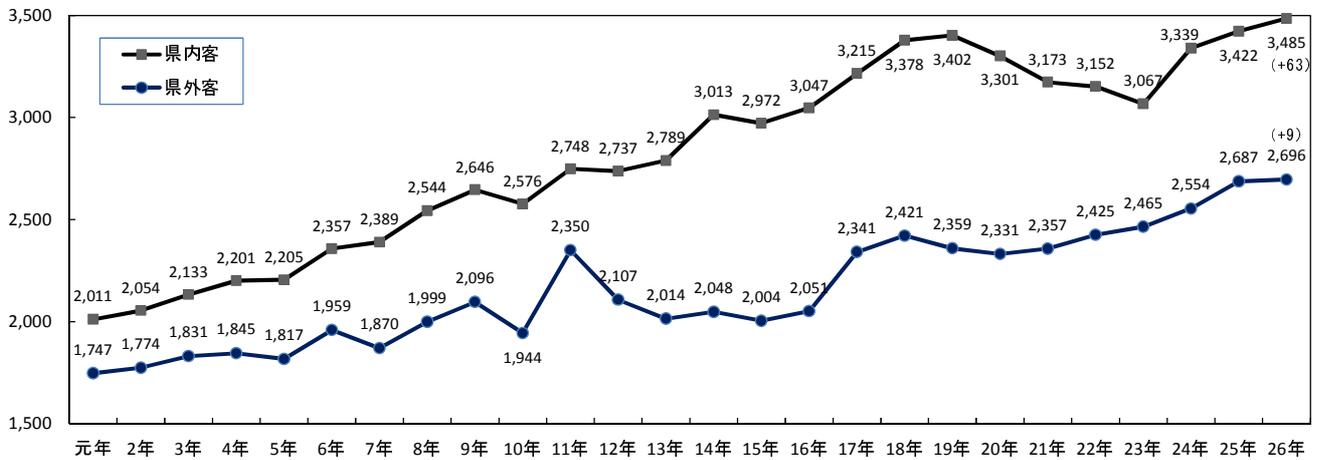
区分	平成26年	平成26年構成比	平成25年	対前年増減	対前年増減率
県内	3,485	56.4	3,422	63	1.8
県外	2,696	43.6	2,687	9	0.3

② 県内・県外観光客数の推移

県内観光客（地元観光客を含む）数は、前年比6.3万人増の3,485万人となり、3年連続で増加し、過去最高を更新した。また、県外観光客数も前年比9万人増の2,696万人となり、6年連続で増加し、過去最高を更新した。

図4 県内・県外観光客数の推移

単位：万人

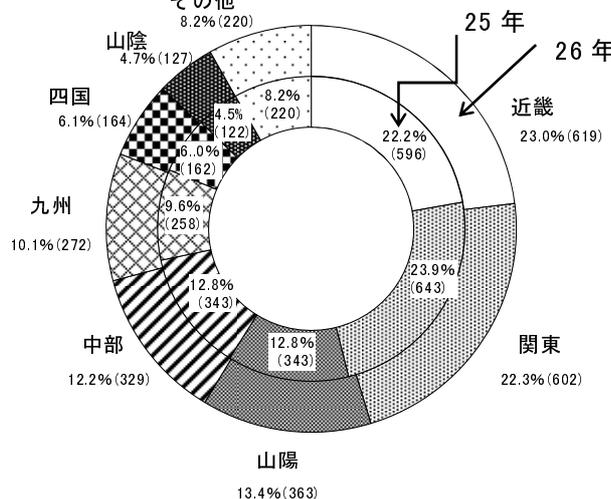


③ 県外観光客の発地別状況

発地別状況については、「近畿地方」と「関東地方」がそれぞれ500万人超で、この2地区の合計で県外観光客の半数近くを占めている。以下、「山陽地方」、「中部地方」、「九州地方」、「四国地方」、「山陰地方」の順になっている。

図5 発地別県外観光客数の割合

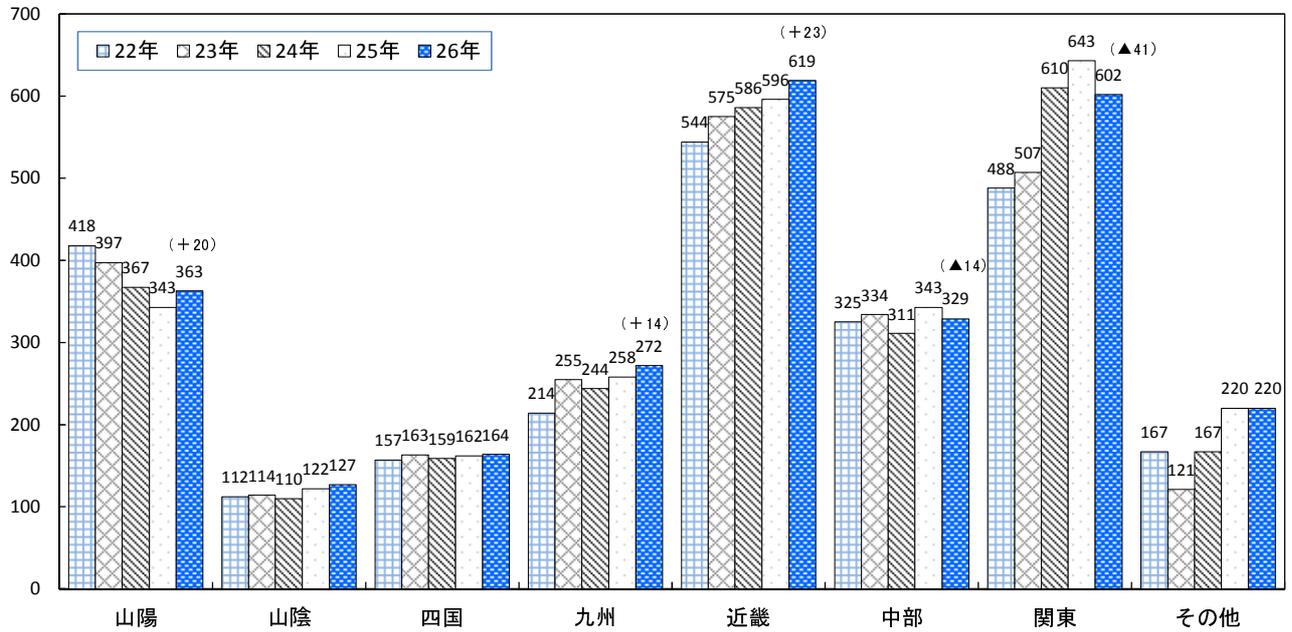
単位：万人



前年と比べた場合、「近畿地方」が23万人、「山陽地方」が20万人の増加となっている。一方、「関東地方」が41万人、「中部地方」が14万人の減少となっている。

図6 発地別県外観光客の状況

単位：万人

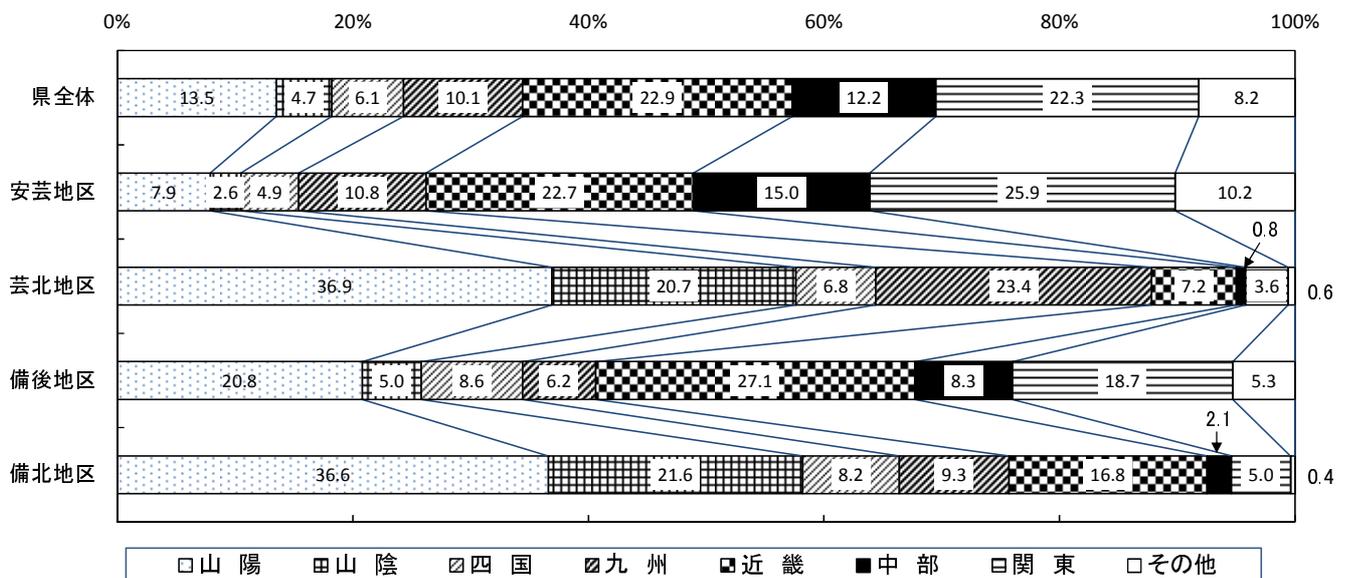


④ 地区別にみた発地別県外観光客の状況

安芸地区は「関東、近畿、中部地方」など大都市圏からの観光客が高い割合を占めている。また、芸北地区は「山陽、九州、山陰地方」から、備後地区は「近畿、山陽、関東地方」から、備北地区は「山陽、山陰、近畿地方」からの観光客が高い割合を占めている。

図7 県内各地区への県外観光客の発地別割合

単位：%

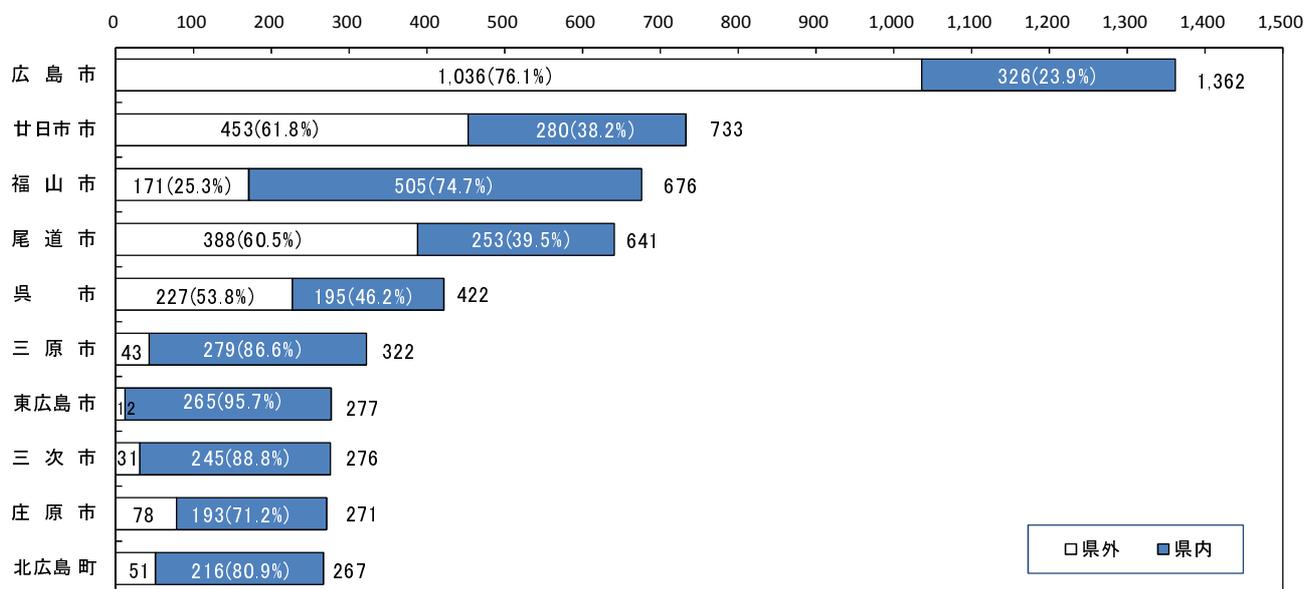


⑤ 市町別にみた県内・県外観光客の状況

観光客数の上位10市のうち、県外客の比率が県全体の平均43.6%を上回っているのは、広島市(76.1%)、廿日市市(61.8%)、尾道市(60.5%)、呉市(53.8%)の4市であった。

図8 市町別県内・県外別観光客数(上位10市町)

単位：万人

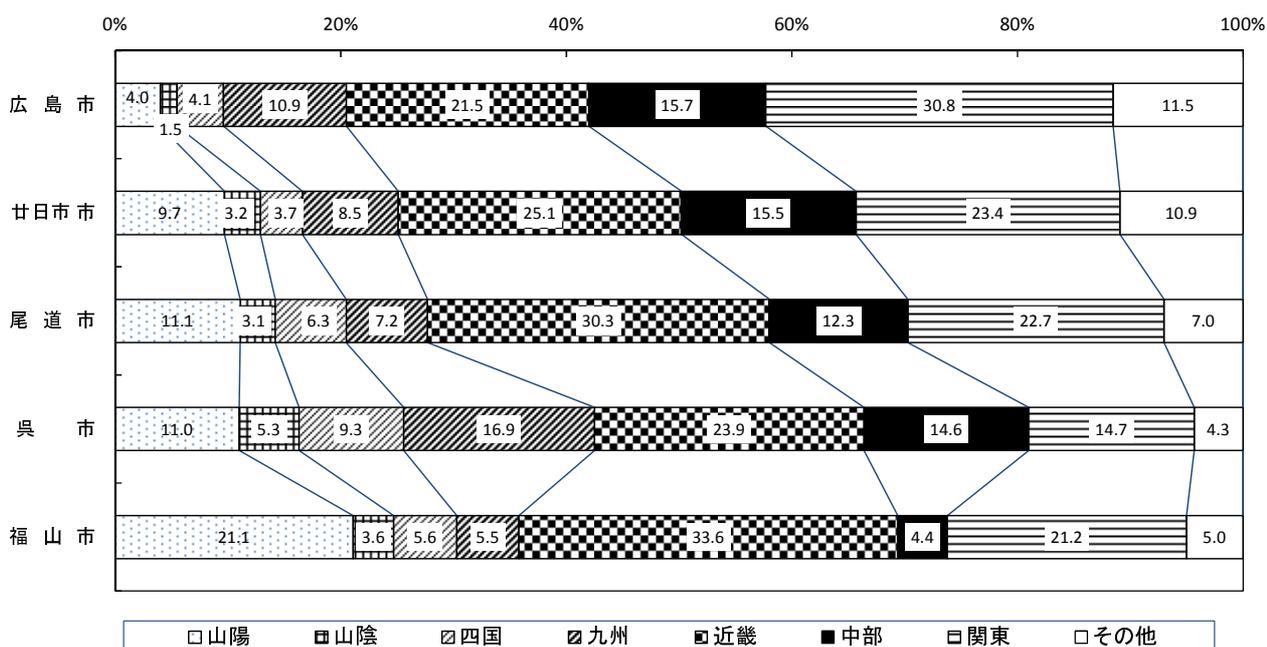


⑥ 市町別にみた県外観光客の発地別状況

県外からの観光客数が多い上位5市を見ると、広島市は「関東、近畿、中部地方」から、尾道市、廿日市市は「近畿、関東地方」から、呉市は「近畿、九州地方」から、福山市は「近畿、関東地方」からの観光客が高い割合を占めている。

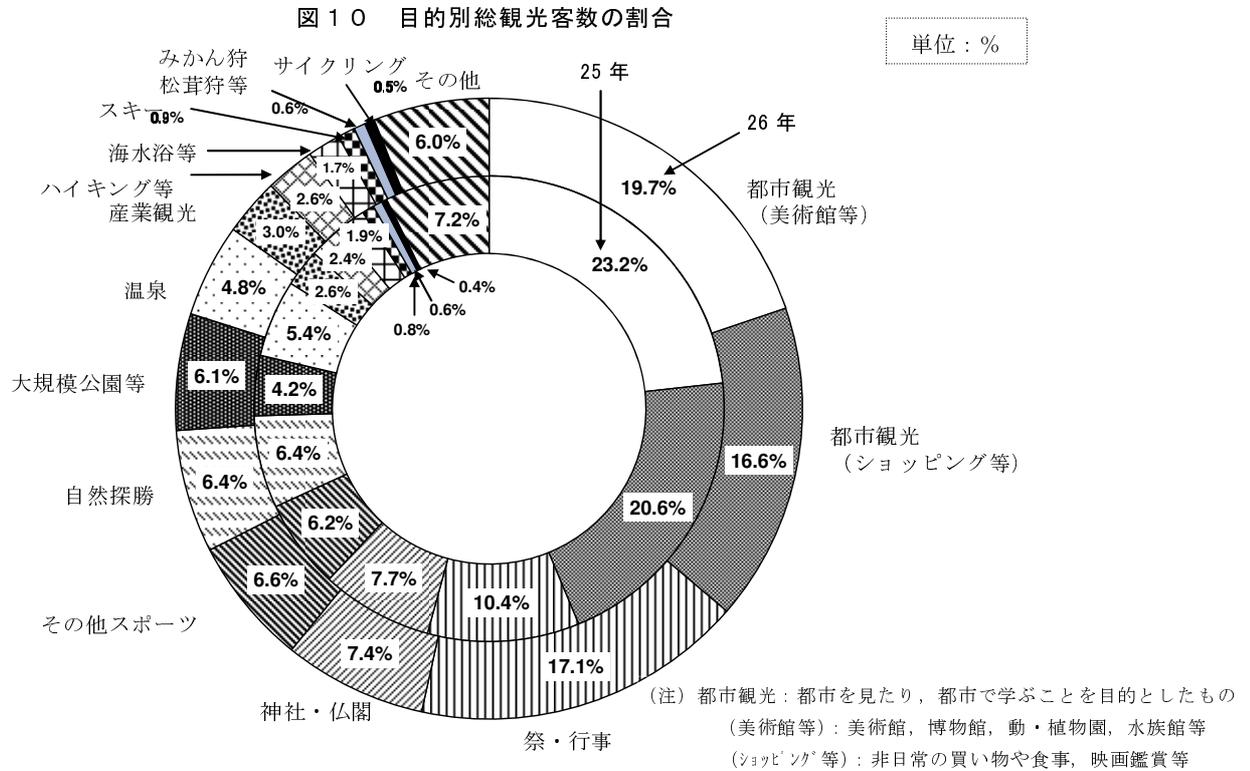
図9 市町別県外観光客の発地別割合(上位5市町)

単位：%

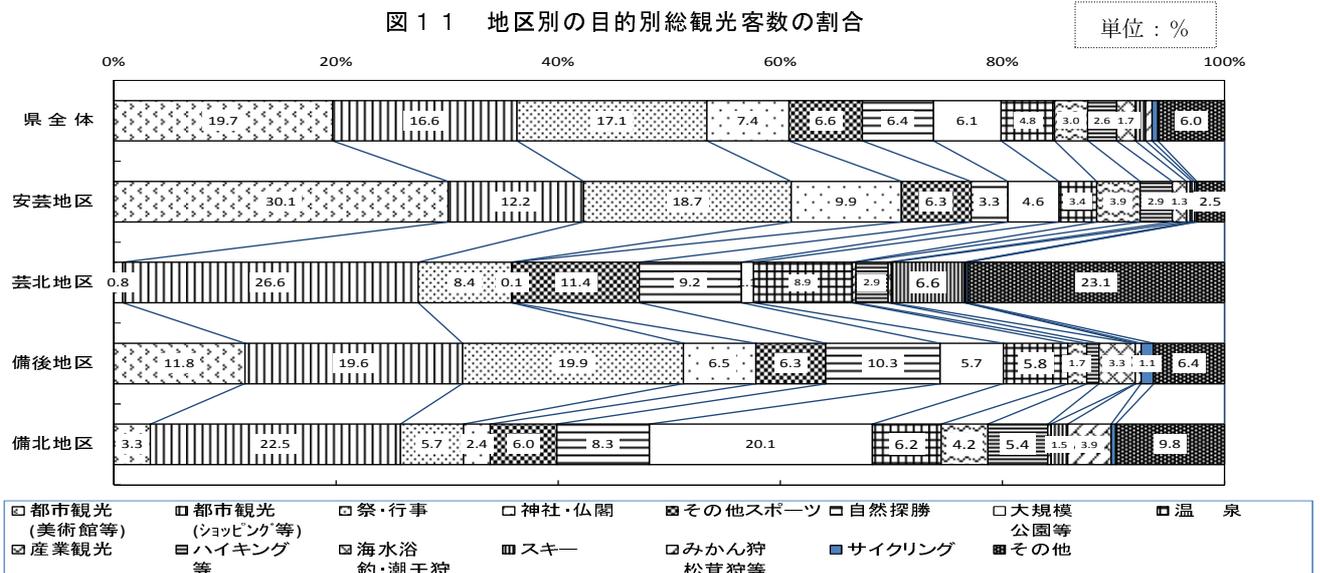


(4) 目的別観光客の状況

目的別では、「都市観光」が36.3%と最も高く（うち「美術館等」が19.7%、「ショッピング等」が16.6%）、次いで「祭・行事」の17.1%、「神社・仏閣」の7.4%となっている。



次に、地区別に目的別観光客の割合を見ると、安芸地区では「都市観光」(42.3%)が圧倒的に多く、芸北地区では「その他スポーツ」(11.4%)と「自然探勝」(9.2%)及び「温泉」(8.9%)、備後地区では「都市観光」(31.4%)と「祭・行事」(19.9%)、備北地区では「都市観光」(25.8%)と「大規模公園等」(20.1%)とが高い割合となっている。



(5) 旅行形態別観光客の状況

単位：万人，%

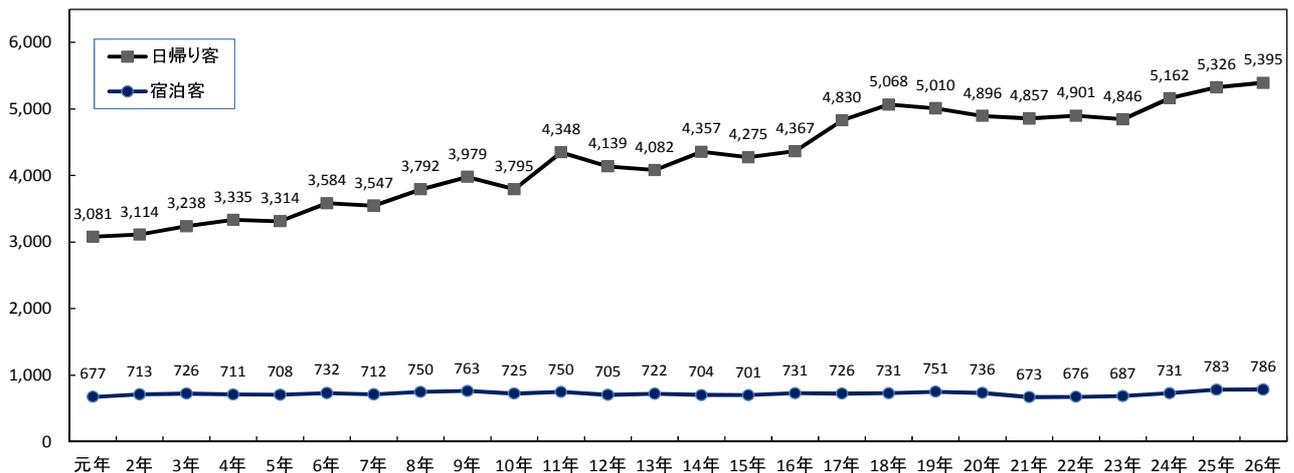
① 日帰り客・宿泊客の状況

区分	日帰り客		宿泊客	
	観光客数	構成比	観光客数	構成比
広島県全体	5,395	87.3	786	12.7
安芸地区	2,617	81.2	607	18.8
芸北地区	466	96.5	17	3.5
備後地区	1,799	93.4	128	6.6
備北地区	513	93.8	34	6.2

本県を訪れる観光客の多くは日帰り客であり、全体の9割近く（87.3%）を占めている。宿泊客は、前年より3万人増加し、過去最高を更新した。地区別では、安芸地区607万人が県全体の7割以上（77.2%）を占めており、次いで備後地区128万人、備北地区34万人、芸北地区17万人の順になっている。

図12 日帰り客・宿泊客数の推移

単位：万人



② 一般客・団体客・修学旅行者^(注)の状況

単位：万人

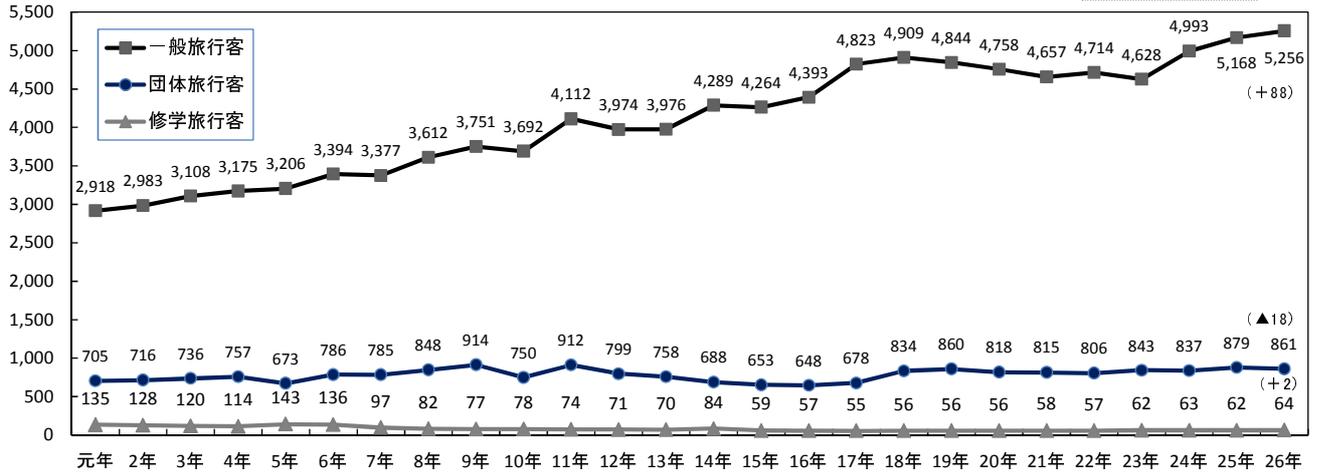
区分	一般客		団体客		修学旅行者	
	観光客数	構成比	観光客数	構成比	観光客数	構成比
広島県全体	5,256	85.0%	861	13.9%	64	1.1%
安芸地区	2,729	84.6%	438	13.6%	57	1.8%
芸北地区	424	87.8%	59	12.2%	0	0.0%
備後地区	1,653	85.8%	268	13.9%	6	0.3%
備北地区	450	82.3%	96	17.5%	1	0.2%

観光客を一般客，団体客，修学旅行者別にみると，一般客が前年より88万人，修学旅行者が2万人増加した一方で，団体客は18万人減少した。

(注) 団体客：10人以上の団体旅行者，一般客：団体客，修学旅行者以外の旅行者

図 1 3 一般客・団体客・修学旅行客数の推移

単位：万人



(6) 交通機関別観光客の状況

観光客の利用交通機関をみると、自家用車を利用したいわゆる「マイカー客」が、3,467万人（前年比0.5%増）と最も多く、観光客全体の56.1%を占めている。

ついで、鉄道利用者が1,204万人（前年比5.1%増）、バス利用者が666万人、船舶利用者が586万人（前年比2.3%増）となっている。

図 1 4 交通機関別総観光客の割合

単位：万人

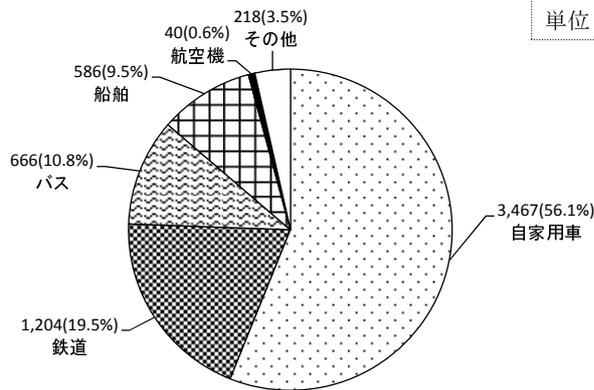
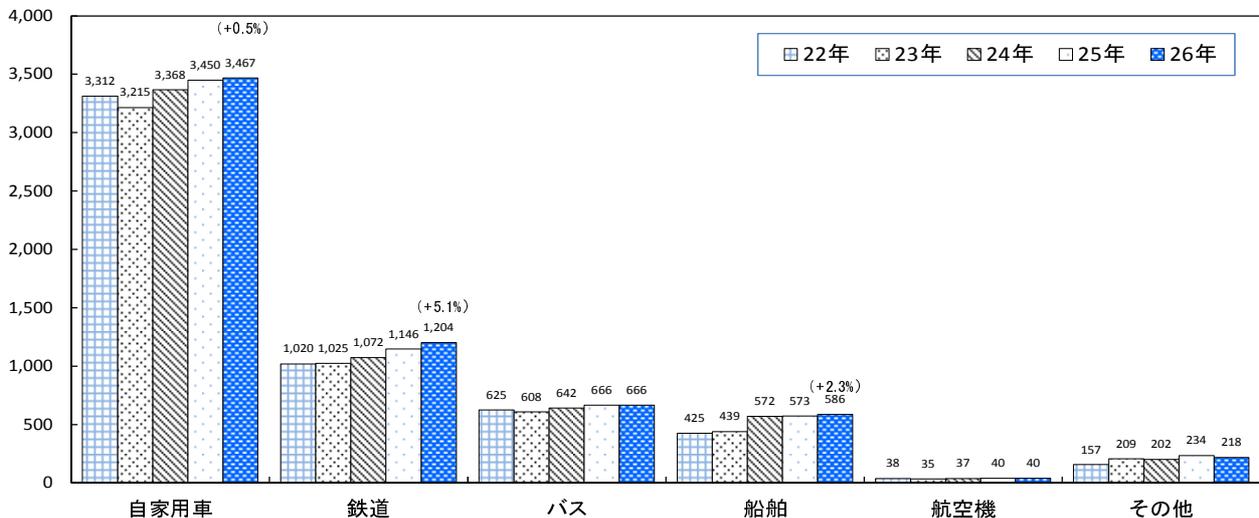


図 1 5 交通機関別総観光客の状況

単位：万人



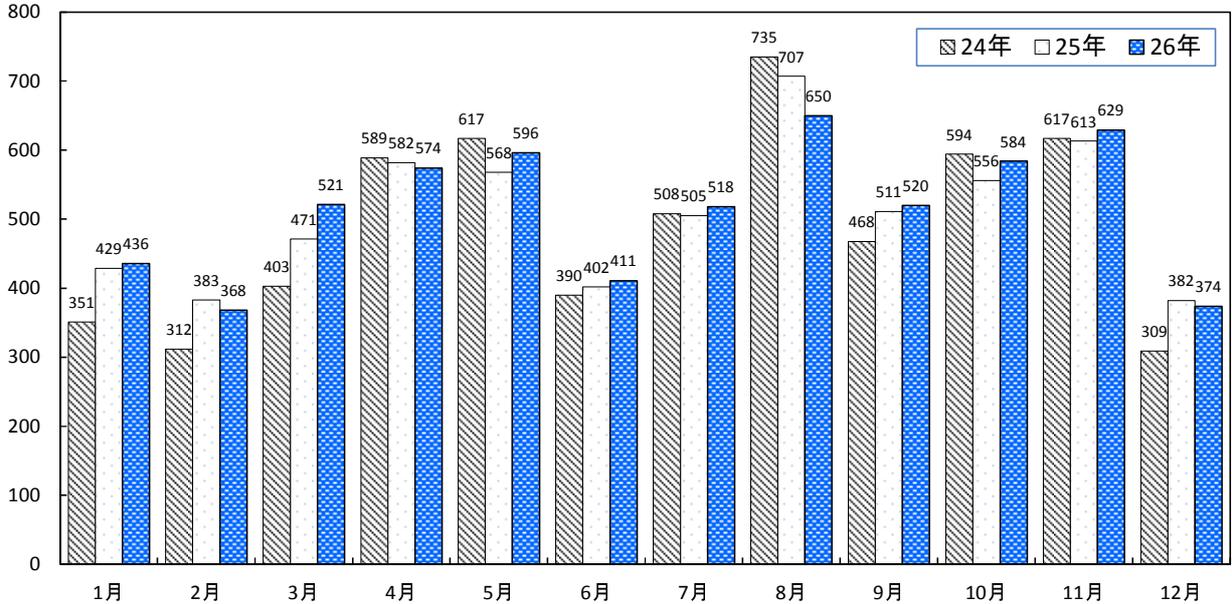
(7) 月別・季節別観光客の状況

① 月別総観光客数の状況

月別に見ると、最も観光客が多かったのは、8月の650万人、次いで11月の629万人、5月の596万人、10月の584万人となっている。

図16 月別総観光客数の状況

単位：万人

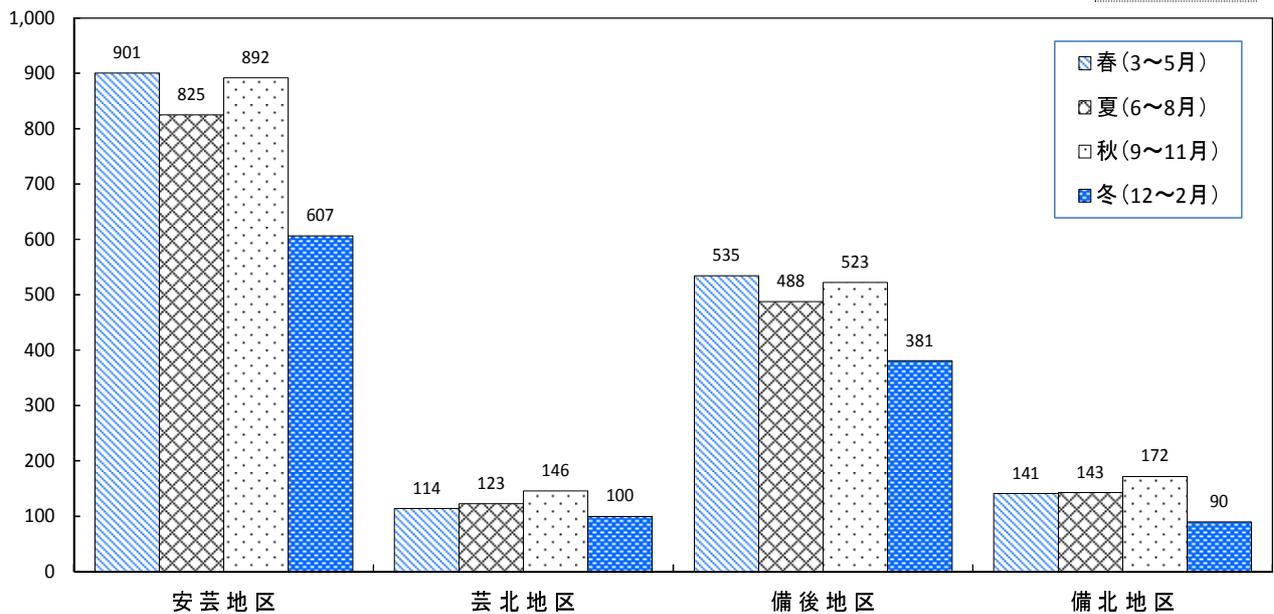


② 地区別・季節別総観光客数の状況

季節別に見ると、安芸地区、備後地区においては、春に観光客が最も多くなっている。芸北地区、備北地区においては秋に観光客が多くなっている。

図17 地区別・季節別総観光客数

単位：万人



2 外国人観光客の状況

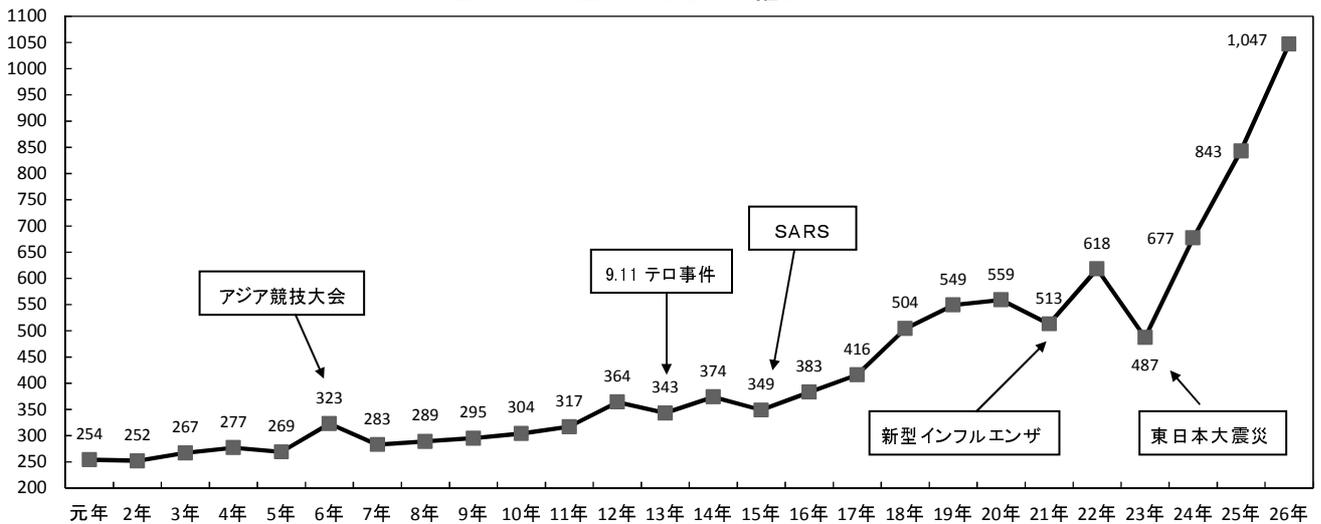
単位：千人，%

区分	平成26年	平成25年	対前年増減	対前年増減率
外国人観光客数	1,047	843	204	24.1

平成26年に本県を訪れた外国人観光客は、1,047千人となっており、前年と比べて204千人（24.1%）増加し、3年連続して過去最高を更新した。

図18 外国人観光客数の推移

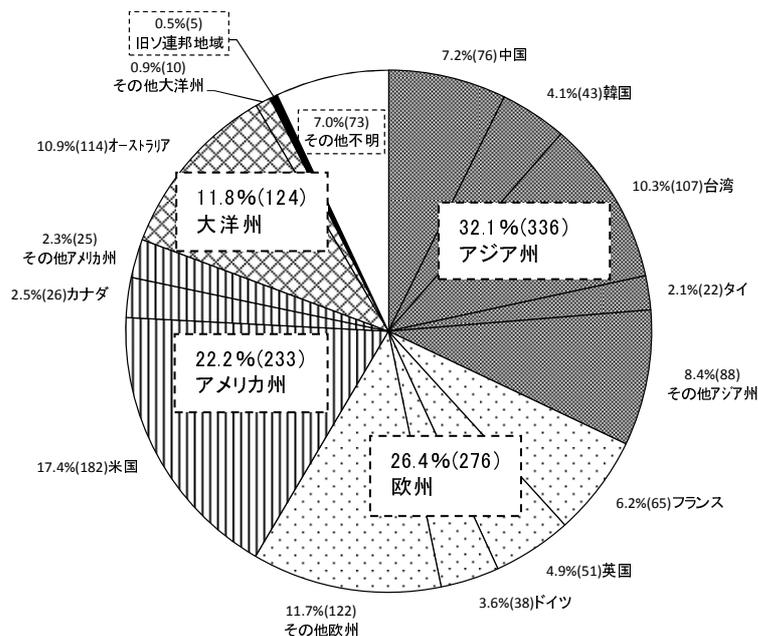
単位：千人



次に、地域別に外国人観光客の割合を見ると、アジアからの観光客が全体の32.1%を占めて最も高く、次いで欧州が26.4%、アメリカ州が22.2%となっている。

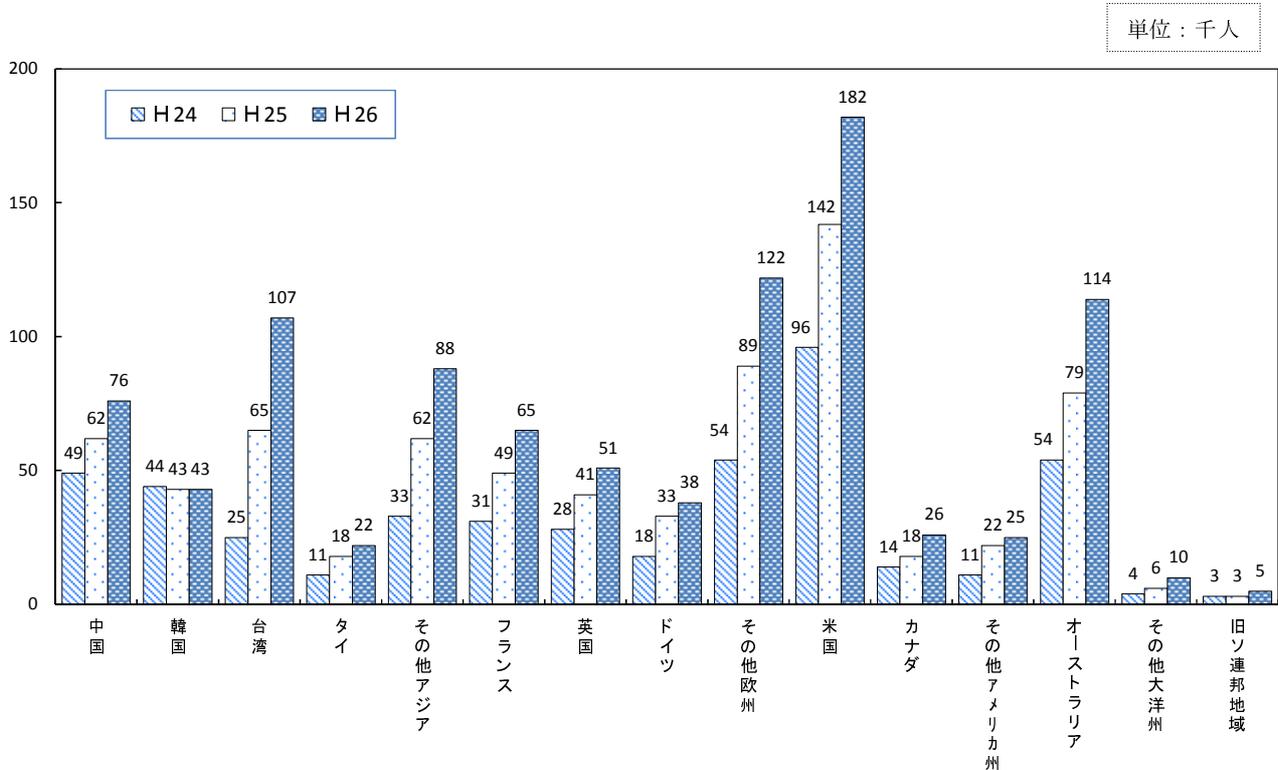
図19 国籍・地域別外国人観光客の割合

単位：千人



国籍別では、米国が第1位（182千人）、第2位がオーストラリア（114千人）、第3位が台湾（107千人）の順となっている。

図20 主な国籍・地域別外国人観光客の推移



国籍別外国人観光客数の順位（上位10位）

単位：千人，%

順位	国籍名	平成26年	平成25年	対前年増減	対前年増減率	前年順位
1位	米国	182	142	40	28.3	1位
2位	オーストラリア	114	79	35	44.8	2位
3位	台湾	107	65	42	64.1	3位
4位	中国	76	62	14	21.9	4位
5位	フランス	65	49	16	32.0	5位
6位	英国	51	41	10	25.3	7位
7位	韓国	43	43	0	▲1.6	6位
8位	ドイツ	38	33	5	13.1	8位
9位	カナダ	26	18	8	47.1	9位
10位	タイ	22	18	4	23.6	10位

3 観光客数及び観光消費額の状況

(1) 観光客数の推移

平成26年の総観光客数は6,181万人となり、そのうち入込観光客^(注)は、前年に比べて25万人(0.6%)、県外観光客は9万人(0.3%)増加している。

また、地元(市町内)観光客は1,737万人で、前年に比べて47万人(2.8%)増加し、総観光客数に占める割合は28.1%となっている。

(注) 入込観光客：各市町を当該市町の区域外から訪れた観光客

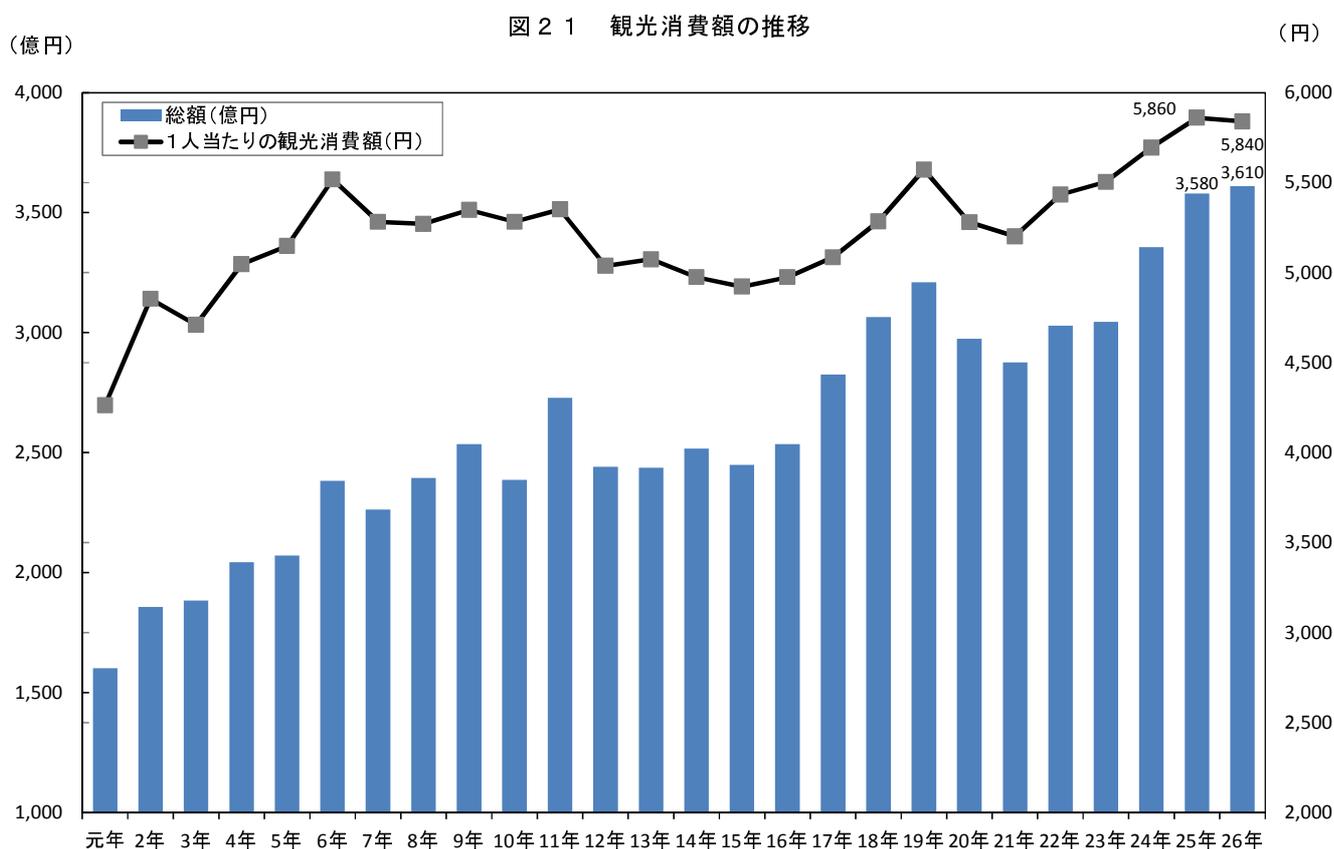
単位：万人，%

区分	年次	県内観光客			県外観光客 (C)	入込観光客 (B) + (C)	総観光客数 (A) + (B) + (C)
		地元観光客(A)	市町外観光客 (B)	計 (A)+(B)			
実 数	元年	656	1,355	2,011	1,747	3,102	3,758
	2年	667	1,387	2,054	1,774	3,161	3,828
	3年	696	1,437	2,133	1,831	3,268	3,964
	4年	711	1,490	2,201	1,845	3,335	4,046
	5年	749	1,456	2,205	1,817	3,273	4,022
	6年	817	1,540	2,357	1,959	3,499	4,316
	7年	836	1,553	2,389	1,870	3,423	4,259
	8年	893	1,651	2,544	1,999	3,650	4,543
	9年	900	1,746	2,646	2,096	3,842	4,742
	10年	898	1,678	2,576	1,944	3,622	4,520
	11年	960	1,788	2,748	2,350	4,138	5,098
	12年	984	1,753	2,737	2,107	3,860	4,844
	13年	1,042	1,747	2,789	2,014	3,761	4,803
	14年	1,126	1,887	3,013	2,048	3,935	5,061
	15年	1,081	1,891	2,972	2,004	3,895	4,976
	16年	1,162	1,885	3,047	2,051	3,936	5,098
	17年	1,212	2,003	3,215	2,341	4,344	5,556
	18年	1,433	1,945	3,378	2,421	4,366	5,799
	19年	1,434	1,968	3,402	2,359	4,327	5,761
	20年	1,415	1,886	3,301	2,331	4,217	5,632
	21年	1,424	1,749	3,173	2,357	4,106	5,530
	22年	1,462	1,690	3,152	2,425	4,115	5,577
	23年	1,508	1,559	3,067	2,465	4,024	5,532
	24年	1,636	1,703	3,339	2,554	4,257	5,893
	25年	1,690	1,732	3,422	2,687	4,419	6,109
	26年	1,737	1,748	3,485	2,696	4,444	6,181
構 成 比	元年	17.5 (32.6)	36.1 (67.4)	53.5 (100)	46.5	82.5	100
	2年	17.4 (32.5)	36.2 (67.5)	53.7 (100)	46.3	82.6	100
	3年	17.6 (32.6)	36.3 (67.4)	53.8 (100)	46.2	82.4	100
	4年	17.6 (32.3)	36.8 (67.7)	54.4 (100)	45.6	82.4	100
	5年	18.6 (34.0)	36.2 (66.0)	54.8 (100)	45.2	81.4	100
	6年	18.9 (34.7)	35.7 (65.3)	54.6 (100)	45.4	81.1	100
	7年	19.6 (35.0)	36.5 (65.0)	56.1 (100)	43.9	80.4	100
	8年	19.7 (35.1)	36.3 (64.9)	56.0 (100)	44.0	80.3	100
	9年	19.0 (34.0)	36.8 (66.0)	55.8 (100)	44.2	81.0	100
	10年	19.9 (34.9)	37.1 (65.1)	57.0 (100)	43.0	80.1	100
	11年	18.8 (34.9)	35.1 (65.1)	53.9 (100)	46.1	81.2	100
	12年	20.3 (36.0)	36.2 (64.0)	56.5 (100)	43.5	79.7	100
	13年	21.7 (37.4)	36.4 (62.6)	58.1 (100)	41.9	78.3	100
	14年	22.2 (37.4)	37.3 (62.6)	59.5 (100)	40.5	77.8	100
	15年	21.7 (36.4)	38.0 (63.6)	59.7 (100)	40.3	78.3	100
	16年	22.8 (38.1)	37.0 (61.9)	59.8 (100)	40.2	77.2	100
	17年	21.8 (37.7)	36.1 (62.3)	57.9 (100)	42.1	78.2	100
	18年	24.7 (42.4)	33.5 (57.6)	58.3 (100)	41.7	75.3	100
	19年	24.9 (42.2)	34.2 (57.8)	59.1 (100)	40.9	75.1	100
	20年	25.1 (42.9)	33.5 (57.1)	58.6 (100)	41.4	74.9	100
	21年	25.8 (44.9)	31.6 (55.1)	57.4 (100)	42.6	74.2	100
	22年	26.2 (46.4)	30.3 (53.6)	56.5 (100)	43.5	73.8	100
	23年	27.3 (49.2)	28.2 (50.8)	55.4 (100)	44.6	72.7	100
	24年	27.8 (49.0)	28.9 (51.0)	56.7 (100)	43.3	72.2	100
	25年	27.7 (49.4)	28.4 (50.6)	56.0 (100)	44.0	72.3	100
	26年	28.1 (49.8)	28.3 (50.2)	56.4 (100)	43.6	71.9	100

(2) 観光消費額の状況

平成26年に、観光客が本県において交通費、宿泊料、みやげ品代、飲食代、入場料などに消費した観光消費額の総額は3,610億円で、前年に比べて30億円(0.8%)の増加となり、過去最高値となった。

また、観光消費額の総額を総観光客数で除した1人当たりの観光消費額^(注)は、前年より20円(0.3%)減少し、5,840円となった。



(注) 1人当たり観光消費額＝総観光消費額／総観光客数

なお、観光消費額については、各市町が推計したものの集計